

平成23年度 第 10 回 倫理委員会議事要録

1. 日 時 : 平成24年2月9日 (木) 16:00 ~ 18:30
2. 場 所 : 特別会議室(管理棟3階)
3. 出席者 : 菅沼教授,横山教授,尾原教授,高橋教授,
宮村部長,宮井部長,阿部教授,金子弁護士,
古郡前土佐リハビリテーションカレッジ校長,麻生教授
4. 列席者 : 総務企画課 研究推進室 企画係 岩田係長,上田係員
5. 議 事 :

新規申請

(1) 標準の全身化学療法を施行した膀胱癌患者の化学療法施行実態調査
(23-108)

研究責任者: 泌尿器科学 教授 執印 太郎

菅沼委員長から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、了承された。

(2) 神経・筋チャネル病の遺伝子解析
(23-109)

研究責任者: 老年病・循環器・神経内科学 助教 大崎 康史

研究責任者 の 老年病・循環器・神経内科学 助教 大崎 康史 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(3) 瘢痕及びエイジングに伴う皮膚症状に対するフラクショナルレーザーの治療効果の検討
(23-110)

研究責任者: 皮膚科学 教授 佐野 栄紀

研究分担者 の 皮膚科学助教 横川 真紀 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(4) 血管性病変及び色素性病変に対するシナジーマルチプレックスの治療効果の検討
(23-111)

研究責任者: 皮膚科学 教授 佐野 栄紀

研究分担者 の 皮膚科学助教 横川 真紀 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(5) 切除不能進行膵癌に対するゲムシタピン+S-1併用療法における分岐鎖アミノ酸(BCAA)顆粒製剤の上乗せ効果に関する検討
(23-112)

研究責任者: 外科学(外科1) 教授 花崎 和弘

研究分担者 の 消化器外科 教授 西原 利治 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

(6) StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する補助化学療法としてのmFOLFOX6療法(L-OHP+1-LV/5-FU)の臨床第Ⅱ相試験
(23-113)

研究責任者: がん治療センター 部長 小林 道也

研究分担者 の がん治療センター 副部長 岡本 健 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(7) StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する補助化学療法としてのmFOLFOX6療法(L-OHP+1-LV/5-FU)の臨床第Ⅱ相試験 付随研究
(23-114)

研究責任者: がん治療センター 部長 小林 道也

研究分担者 の がん治療センター 副部長 岡本 健 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(8) 術後補助化学療法にOxaliplatinを用いた大腸癌再発症例に対してのFOLFOX、XELOX±BVの再投与の検討
(23-115)

研究責任者: がん治療センター 部長 小林 道也

研究分担者 の がん治療センター 副部長 岡本 健 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(9) 食道癌術式による患者急性期予後に関する後方視研究

(23-116)

研究責任者： 麻酔科学 助教 矢田部 智昭

菅沼委員長から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、了承された。

(10) 医学部入学者選抜における態度・習慣領域評価に関する研究

(23-117)

研究責任者： 総合教育センター入試部門 助教 大塚 智子

研究責任者 の 総合教育センター 助教 大塚 智子 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(11) 大学新入生におけるストレスの要因と時間的变化

(23-118)

研究責任者： 看護学部門 教授 高尾 俊弘

菅沼委員長から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、了承された。

(12) 抗精神病薬の多剤大量投与の安全で効果的な是正に関する臨床研究

(23-119)

研究責任者： 神経精神科学 准教授 下寺 信次

研究責任者 の 神経精神科学准教授 下寺 信次 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

迅速審査結果報告【平成24年2月2日付け】

(1) 各種酸化マグネシウムの味、服用感及び開封操作の利便性についてのアンケート調査

(23-122)

研究者： 薬剤部 調剤室長 森田 靖代

菅沼委員長から、関係書類に基づき、迅速審査による結果【平成24年2月2日：一部修正のうえ承認】について報告が行われ、質疑・応答の後、了承された。